

講義名	行政学		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	川崎 浩二郎		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 1時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	31053

### 主題と概要

行政学は、19世紀末アメリカにおいて近代国家から現代国家への変容に伴う行政体制の整備という課題に応え誕生した新しい学問であるが、わが国に取り入れられて以降独自の発展を遂げてきた。この間、行政体制の実態的側面においては、第2次世界大戦後の改革に加え、今世紀を迎えるタイミングで地方分権一括法制定に伴う関係法令改正、中央省庁等改革基本法制定に基づく省庁等の再編統合という大きな変化があった。

本講（行政学）では、わが国の行政活動を枠づけている政府体系、行政活動の主体となる官僚制組織の行動原理、行政活動のもうひとつの側面である政策形成過程等について理解を深め、そのうえに立って行政活動を取り巻く今日的課題とそれらへの対応について考察する。

### 到達目標

- ・わが国における行政活動の基本的な仕組み（政府体系、官僚制組織、政策形成過程等）について理解を深める。
- ・行政活動を取り巻く今日的課題について考察し、これからの行政活動のあり方を考えるための自分なりの視点を持たせる。

### 提出課題

講義の内容に即して、中間及び最終の2回のレポートを課す。レポートは、A4版1～2枚を標準とする。

### 評価の基準

上記のレポート（各35点、合計70点）及び出席回数（30点満点）に、受講態度（他人への迷惑行為は減点）を加味する。

### 履修にあたっての注意・助言他

授業では政治・経済等の時事問題をできるだけ多く取り上げたいと考えているので、新聞等のニュースに注意を払うこと。これに伴って、授業計画を適宜変更することがある。

### 教科書

行政学	真淵勝	有斐閣	3,800

### プリント資料及び参考文献

プリント資料は適宜配布する。また、参考文献も随時紹介する。

### 授業計画

1. 行政学で扱う内容
2. 官僚制と民主制
3. 現代国家の政府体系～中央集権と地方分権～
4. 議院内閣制と中央省庁
5. 公務員制度
6. 政策形成過程
7. 予算編成
8. 決算と会計検査
9. 地方自治 ～事務と権限～
10. 地方自治 ～財政～
11. 地方自治 ～組織と人事～
12. 行政管理と行政改革
13. 官民関係
14. 行政統制と行政責任
15. まとめ

### 予習・復習

常に何が論点となっているのかを意識し、それに対して自分なりの意見が持てるような学習態度で臨むことを求める。このため、予習として教科書の該当箇所を目を通しておくとともに、授業後の復習として何が論点であったか、それに対し自分はどうか思ったかを簡潔にメモに残しておく習慣を身に付けることが望ましい。なお、予習1時間+復習1時間が目安となる。

### 備考